

しょう しん しょう めい
笑進笑明

<校訓>



・学ぶ力
・働く力
・正す力

平群中だより
編集者:吉迫隆志
NO.3
令和5年5月23日

『みなさん! 中間テストはどうでしたか~!!』



今年度、初めての定期考査(中間テスト)が月曜日から2日間実施されました。でき具合はいかがでしょう!?特に1年生にとっては、初めての定期考査ですから、結構プレッシャーを感じていた人も多かったことと思います。部活動も停止しテストだけの時間割で受ける雰囲気は特別なものがありますよね。中学校から、このような経験をしていきます。一定の期間で習ったことが、どの程度理解できているのか、自分の力状況を知る(診断する)ために行います。診断(しんだん)とは、本来、医療の世界で使われているもので「医師が患者を診察して症状を判断すること」と辞書で説明されています。テストの問題を通して、教科の先生方がみんな一人一人に「どうですか?この問題はわかりますか?理解できていますか?」と問いかけています。

解答用紙に自分の考え(解答)をしっかりと諦めずに述べることができましたか?「う~ん...」と首をひねりながら考えた問題もあったことと思いますが、自分の今もてる力を精一杯出せていることを期待します!!

今回の「笑進笑明」は、中間テストが終わり、ちょっと一息ついて...読んでもらえればと思い書きます。

“卯の花 ~夏は来ぬ~, (うのはな、 なつはきぬ)

卯の花の におう垣根に (うのはなの におうかきねに)
ほととぎす 早も来 啼きて (ほととぎす はやもき なきて)
忍音もらす 夏は来ぬ (しのびねもらす なつはきぬ)



ウツギです。
(卯の花)

ちょうど、今頃の季節は「二十四節気(にじゅうしせっき)」の『小満(しょうまん) 5月21日頃、草木が成長し、枝葉がしげるころ。また、麦畑が緑黄色(りよくおうしょく)に色付き始めるころ。』と、まさに“初夏,,を絵に書いたような好季節を迎えています。今(5/21)に書いていますが、朝からとても気持ちのいい天気です。少し、5月としては暑すぎる日も少し多いですが...さて、タイトルの「卯の花(うのはな) ~夏は来ぬ~」ですが、みんなは、きっと知らないかなあ...保護者の方はご存じでしょうか?!

小学校か中学校の時、ちょうどこの季節に音楽の時間に習ったであろう歌で「夏は来ぬ」というタイトルです。

左ページの1番の歌詞ですが、ウツギ(別名 卯の花)という白い花が咲きそろい、夏の代表鳥である、ほととぎすが早くもやって来て、人に聞かれるのを気づかうように小さな音で鳴いている。という情景をきれいなメロディーであらわした曲です。この季節思わず口ずさみたくになります。本当にすがすがしい季節ですね!

『挑戦は活力の源』

(5/23の全校集会での話から)

「どうしたらいいのだろう?」

「誰の言うことを信じればいいのだろう?」

そんな思いが頭を駆け巡ることはありませんか。こんな時だからこそ、何かに『挑戦』してみてください。何でもいいのです。

昨日までできなかったこと...

昨日までよく知らなかったこと...

昨日まで億劫にしていたこと...

少しの勇気を携えて、挑戦してみてください。夢中になって、精一杯取り組んでみてください。もしかしたら、うまくいかない、できないと後退してしまうこともあるかもしれません。

でも、結果だけを気にしない。そして、今回は無理だったと思って諦めない。夢への挑戦はほんの小さなきっかけから生まれることが多いのです。

私自身、何かができるようになったときのことを振り返ってみると、「好きこそもの上手なれ」という言葉のとおり、好きだからこそうまく行って自分の力になったものでも、その道程(みちほど)では厳しいこともたくさんありました。

また、挑戦してみたものの、うまくいかなかったときのことを思い返してみると、辛く苦しい思い出がよみがえってもきます。

しかし、勇気を出して踏み出した一歩はプラスになり、その後の人生で糧になっていることの方が多いのです。実は、その「挑戦」している最中、課程こそが重要な時間なのです。

「挑戦に向かう大きな力」

大きな力が湧いたから行動に移せるわけだし、そして、何より勇気をもって、「進めてみたこと」や「考えたことを行動に移してみたこと」が挑戦の大きな成果となるのです。

これまで、億劫だったこと、毛嫌いしていたことから、逆に活力をもらえます。踏み出した一歩に勇気をもらえます。自分に「素敵」を呼び込んでみましょう。

『挑戦は活力の源』です。